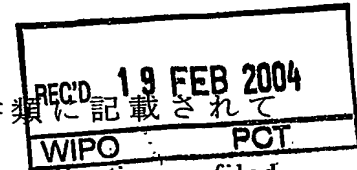


26.12.03

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。  
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日            2 0 0 3 年    9 月 1 7 日  
Date of Application:

出 願 番 号            特 願 2 0 0 3 - 3 2 4 1 8 0  
Application Number:  
[ST. 10/C]:            [ J P 2 0 0 3 - 3 2 4 1 8 0 ]

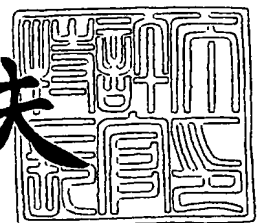
出    願    人            エヌエスプランニング株式会社  
Applicant(s):

**PRIORITY  
DOCUMENT**  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2 0 0 4 年    2 月    6 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願  
【整理番号】 150711  
【あて先】 特許庁長官殿  
【発明者】  
【住所又は居所】 東京都豊島区南大塚 2-26-7 エヌエスプランニング株式会社  
社内  
吉田 司  
【氏名】  
【特許出願人】  
【識別番号】 598167800  
【氏名又は名称】 エヌエスプランニング株式会社  
【代理人】  
【識別番号】 100072084  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 竹内 三郎  
【電話番号】 03-3506-8001  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100110962  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 市澤 道夫  
【手数料の表示】  
【予納台帳番号】 033215  
【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
【物件名】 特許請求の範囲 1  
【物件名】 明細書 1  
【物件名】 図面 1  
【物件名】 要約書 1  
【物件名】 委任状 1  
【援用の表示】 平成15年9月12日提出の包括委任状

## 【書類名】特許請求の範囲

## 【請求項 1】

合成樹脂シート材により形成された少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には目的に応じた用途物を収納し、他の収納部には挟着部を形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてなるクリップ付き装着具。

## 【請求項 2】

合成樹脂シート材により形成された少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には通気部を形成して揮発成分などの発散成分含有材を収納し、他の収納部には挟着部を形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてなるクリップ付き装着具。

## 【請求項 3】

合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は出し入れ可能な目的に応じた用途物の収納部とし、裏側の収納部はクリップ装着部とし、ここに挟着部を形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてなるクリップ付き装着具。

## 【請求項 4】

合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は、通気部を残して開口部を閉止可能として揮発成分などの発散成分含有材を収納し、裏側の収納部はクリップ装着部とし、ここに挟着部を形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてなるクリップ付き装着具。

## 【請求項 5】

二つの収納部の内、裏側の収納部は、裏側収納部の両側にクリップ差込み収納部を形成し、若しくは、両側部に位置したクリップ差込み収納部として形成してなる請求項 1～4 のいずれかに記載のクリップ付き装着具。

【書類名】明細書

【発明の名称】クリップ付き装着具

【技術分野】

【0001】

本発明は、携帯物などに簡便に装着して使用することができ、特に被服類に装着して好適に使用することができる多目的クリップ付き装着具に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、香料などの揮発分を含む匂い袋があるが、鎖類で胸に掛けるか、ポケットに入れておくものであり、袋の工夫などはなされている。

一方、クリップは種々形態のものが開示されているが、いずれも2つのものを挟み付けるものとして使用されている。

【0003】

【特許文献1】特開平11-32822号公報

【特許文献2】特開2000-161187号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明は、上記のような従来の発想とは異なった着眼に立ち、携帯に便利であり、かつ見栄えの良い多目的クリップ付き装着具を提供せんとするものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

上記課題を解決するために、本発明は、合成樹脂シート材により形成された少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には目的に対応する用途物を収納し、或いは通気部を形成して揮発成分などの発散成分含有材を収納し、他の収納部には挟着部を形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてクリップ付き装着具を構成させたことを特徴とするものである。

また、本発明は、合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は出し入れ可能な目的に対応する用途物の収納部とし、或いは通気部を保って開口部を閉止可能として揮発成分などの発散成分含有材を収納し、裏側の収納部はクリップ装着部とし、ここに挟着部を形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部としてクリップ付き装着具を構成させたことも特徴とする。

上記における二つの収納部の内、裏側の収納部は、裏側収納部の両側にクリップ差込み収納部を形成したものとし、若しくは、両側部に位置したクリップ差込み収納部として形成したものとすることができる。

【発明の効果】

【0006】

本発明によれば、用途物として、例えば植物、化粧品、医薬品などの香気成分或いは薬効成分などを具備させた揮発成分その他の発散成分の含有材、その他の所望用途物とクリップとを一体的に保持させた携帯装着具を提供することができ、これをポケットなどに着脱自在に止着して携帯することができ、所望の香気や薬効などを発散させることができる。装着は被服などに限らず、サイフや名刺入れ、本、その他を対象とすることができ、葉などとして挟着することもできる。所望用途物は例えば、名札、通行証、ICチップ内蔵の非接触型データ送受信シート、その他任意でよい。表シート材の表側には装飾を表すことができ、名前などを表示することによって名札の如き表示効果を奏させることもできる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0007】

図面を用いて本発明の一例の実施形態を説明する。

図1は一例としての本発明のクリップ付き装着具を示しており、図2はその収納体、図3はクリップを示している。符号1はクリップ付き装着具、2は収納体、3はクリップ3である。

#### 【0008】

収納体2は、装飾或いは名札などの用途に合う大きさに象った合成樹脂乃至透明合成樹脂素材の表シート材4を形成し、この裏面に中シート材5、裏シート材6の二枚の合成樹脂素材を積層し、開口部を除いて周縁部分を熱融着、接着剤などによりシールして、表側収納部7、裏側収納部8を形成してなる。この際、裏側収納部8の両側に、クリップの挟着一端部3aを差込み可能なクリップ差込み収納部8aが区画されるように、予め中シート材5と裏シート材6の両側端から適宜間隔をおいた内側位置を両側端に沿ってシールして形成してなる。

#### 【0009】

各シート材は、平坦シート材の積層でもよく、図1(C)のように、裏シート材6を圧空真空成形などの熱成形により或いは射出成形によって、周縁部を表方向に若干立ち上げて立体化させた受け形ケース状として形成し、この表側に中シート材5、表シート材4を張設するようにして形成することができる。

このケース状の裏シート材6は、上縁を除く表側周縁部に、若干の段差を持たせた二段の段部6a、6aを設け、両側端の裏側縁部に外側に露出したクリップ3の垂直部3cが当接可能な収まり部6bを形成したものとすることができる。中段の段部6aに中シート材5の縁部をシールし、表側の段部6aに表シート材4の縁部をシールすればよい。

#### 【0010】

中シート材5の上端は、表シート材4と同高以下の高さとし、図では適度に低く設定し、その上縁沿いに表シート材との間をシールしない開口部9とし、表側収納部7内に収納した収納物の発散成分が外方に発散可能としてある。

裏シート材6の上端は、上記中シート材5の開口部9と同位置乃至は下位置に設定し、その上縁沿いはシールしない開口部としてある。

#### 【0011】

クリップ3は、クリップ差込み収納部8a内に挿入する挟着一端部3aと、収納部外側に露出して被装着部への挟着部となる挟着他端部3bとを、該他端部の内側に一端部が位置するように鋼線材を折曲して形成し、両端部に対する表裏方向への適度（指先での加圧力程度）な加圧に対して復元力が作用するものとして形成してなっている。

図では、鋼線材を折曲してU字形を形成するとともに、その上端を内折れさせてU字形の内側に、平行するとともに抜けやすさ防止のために端部をさらに内側に折返し沿わせて一端部3aを形成し、或いは図示しないが、この一端部を内方にさらに小U字形状に折曲して形成し、或いはまた、折返さずに形成し、折曲した両端部で内外方向に挟着できるように形成し、この内側の挟着一端部3aをクリップ差込み収納部8a内に差込んだ状態において、外側の挟着他端部3bの垂直部3cは上記裏シート材6の収まり部6b内に収まり、U字形状の下端部3dが裏シート材6の下方に突出して配設されるように形成してある。

なお、クリップは合成樹脂製でもよく、その場合、一端部は板面状であってもよく、また、上記折曲形状は図示以外の適宜形状とすることができる。

#### 【0012】

上記表側収納部7には、所望の香気を発散する香気成分、或いは虫除け成分や皮膚保護成分などを発散する薬効成分などを含浸或いは混入するなどしてなる揮発成分、その他の発散成分含有材を収納し、好ましくはシート状とした発散成分含有材を収納しておくことができ、目的に適応した成分を収納したものを着用することができる。

裏側収納部8にも同様な物を収納しておくことができ、クリップ差込み収納部8aにはクリップ3の挟着一端部3aを差し込んで止着してあり、クリップ挟着他端部を例えばポケットの口部内側に引っ掛けつつ、裏シート材6の下部を裏側から表方向に指先などで軽

く押圧し、そのままポケット内に押し込めば、本携帯装着具 1 はポケットに簡単に片手で装着される。その他への着用も同様である。

**【0013】**

なお、表シート材 4 の表面には、所望の装飾を表すことができるが、透明材として形成した場合は、表側収納部 7 内に氏名などの表示片や通行証などを挿入し、或いは透明であるか否かを問わず、シート状の上記発散成分含有材に IC チップを装着するか、IC チップを具備させた非接触型データ送受信シートなどを収納して表示具として機能させることができる。

収納部 7 乃至 8 への収納は目的に応じることにより、多目的に適用可能である。

**【0014】**

なお、図 4 は上記と異なる実施例であり、表側収納部 7 とクリップ差込み収納部 8 a とが異なるものとなっている。

開口部 9 には、中シート材 5 の上縁に平行して、中シート材表側面と表シート材裏面に互いに係合離脱可能な凹凸条ファスナー 10 を形成することにより、両シート材 4, 5 間に止着可能な開口部 9 を形成し、さらに、ファスナー 10 の左右端の下側に、若干高さに亘って中シート材 5 と表シート材 4 とをシールしない状態の通気間隙を形成し、内部に収納した収納物の発散成分が外方に発散可能な通気部 11 としてある。通気部 11 は通気可能であれば他の任意構成でよく、他の部位に形成してもよい。また、通気部は開口部の形成に代えて、表シート材 4 を通気性素材で形成したものとすることもできる。

裏シート材 6 の上端は、上記中シート材 5 の通気部 11 の下位置でシール部分が合う高さに設定するのが好ましく、上縁は開口した状態としておいてよい。

**【0015】**

また、図 4 のように、両側のクリップ差込み収納部 8 a を区画形成せず、裏側収納部 8 を形成しておいて、この内部両側にクリップ 3 の一端部 3 a を差込むようにすることもできる。

**【0016】**

さらに、盗難防止、通行チェック、確認などのために使用される IC チップ内蔵の非接触型データ送受信装置（例えばシート状）12 を表裏側収納部 7、8 いずれかに収納することができるが、図 5 に示すように、上記送受信装置をクリップ一端部 3 a に固着させて、クリップをアンテナ兼用とさせ、裏側収納部 8 内に収納しておくこともできる。

**【図面の簡単な説明】****【0017】**

【図 1】本発明の一例の携帯装着具を示し、(A) はその表面図、(B) は裏面図、(C) は横断面図である。

【図 2】図 1 の収納体を示し、(A) はその裏面図、(B) は側面図、(C) は横断面図、(D) は裏シート材の端部を示す部分断面図である。

【図 3】図 1 のクリップの正面図である。

【図 4】図 1 の携帯装着具の異なる一例の裏面図である。

【図 5】IC チップ内蔵の例を示す異なる形態の裏面図である。

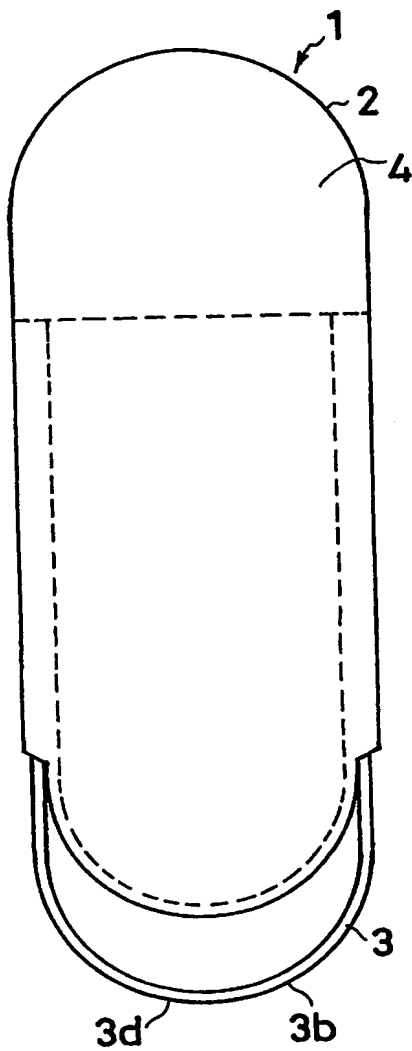
**【符号の説明】****【0018】**

- 1 クリップ付き装着具
- 2 収納体
- 3 クリップ、 3 a 一端部、 3 b 他端部、 3 c 垂直部、 3 d 下端部、
- 4 表シート材
- 5 中シート材
- 6 裏シート材、 6 a 段部、 6 b クリップの収まり部、
- 7 表側収納部
- 8 裏側収納部、 8 a 差込み部、
- 9 開口部

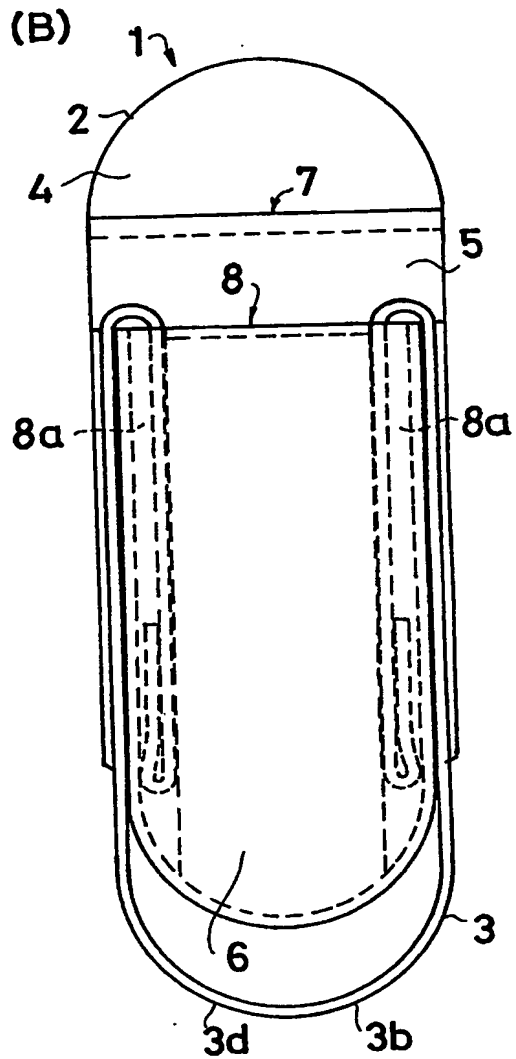
- 1 0 ファスナー
- 1 1 通気部
- 1 2 非接触型データ送受信装置

【書類名】 図面  
【図 1】

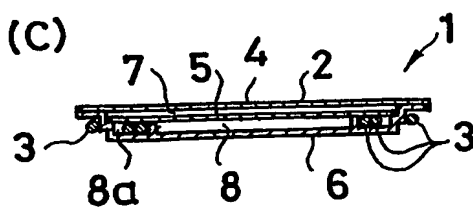
(A)



(B)

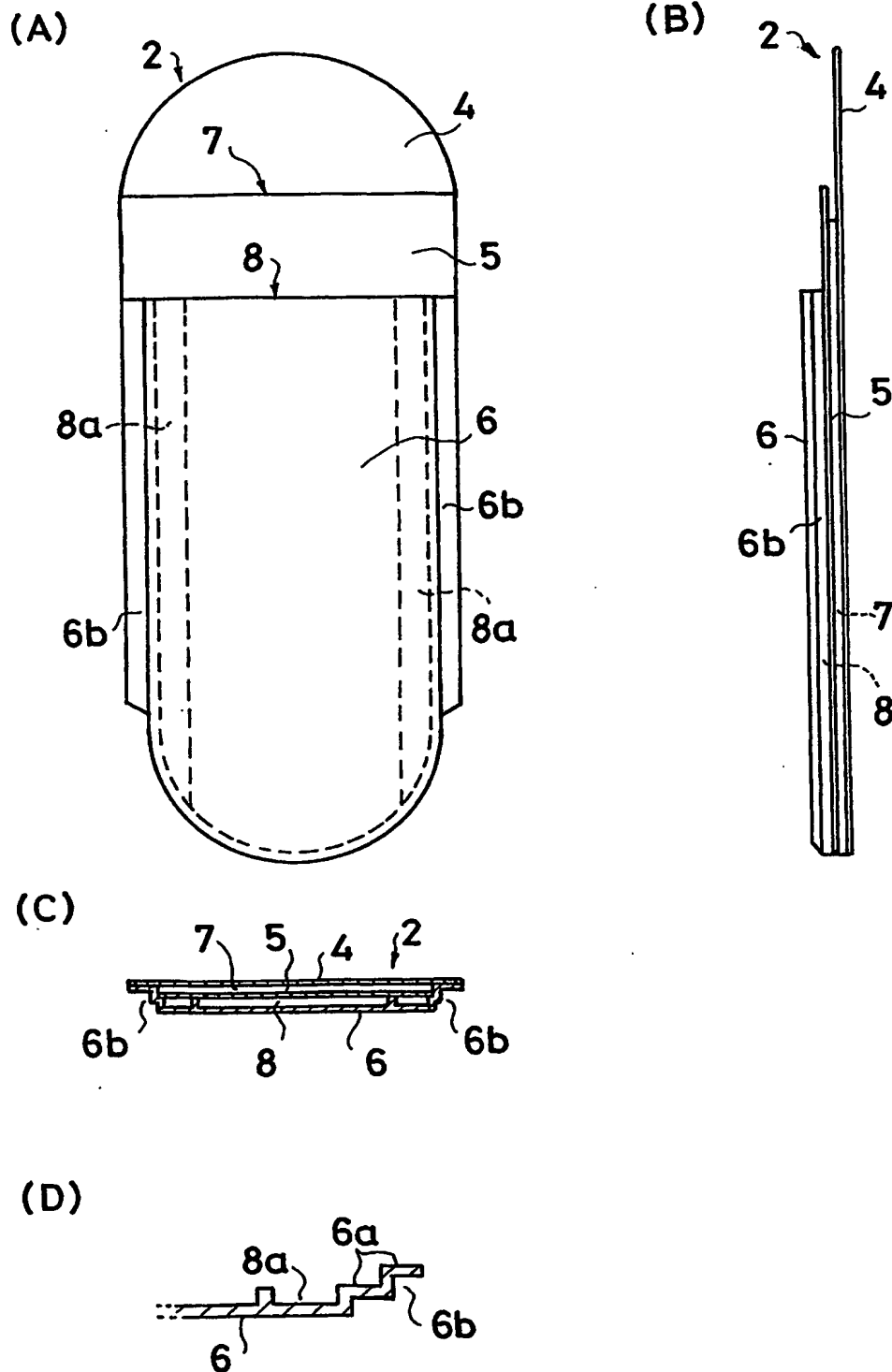


(C)

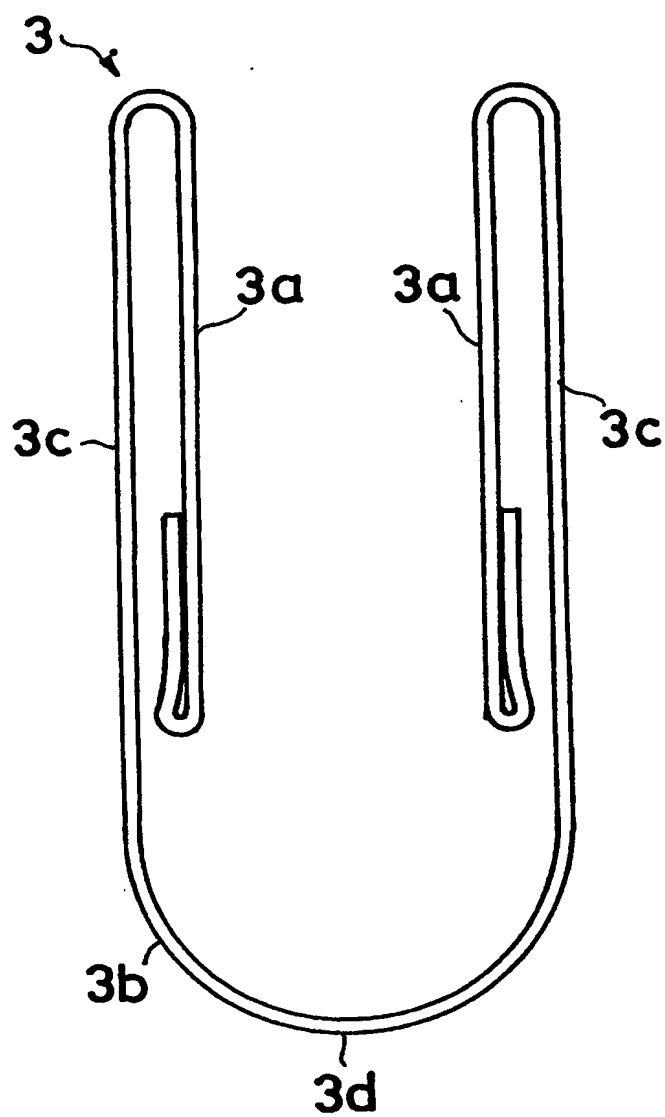




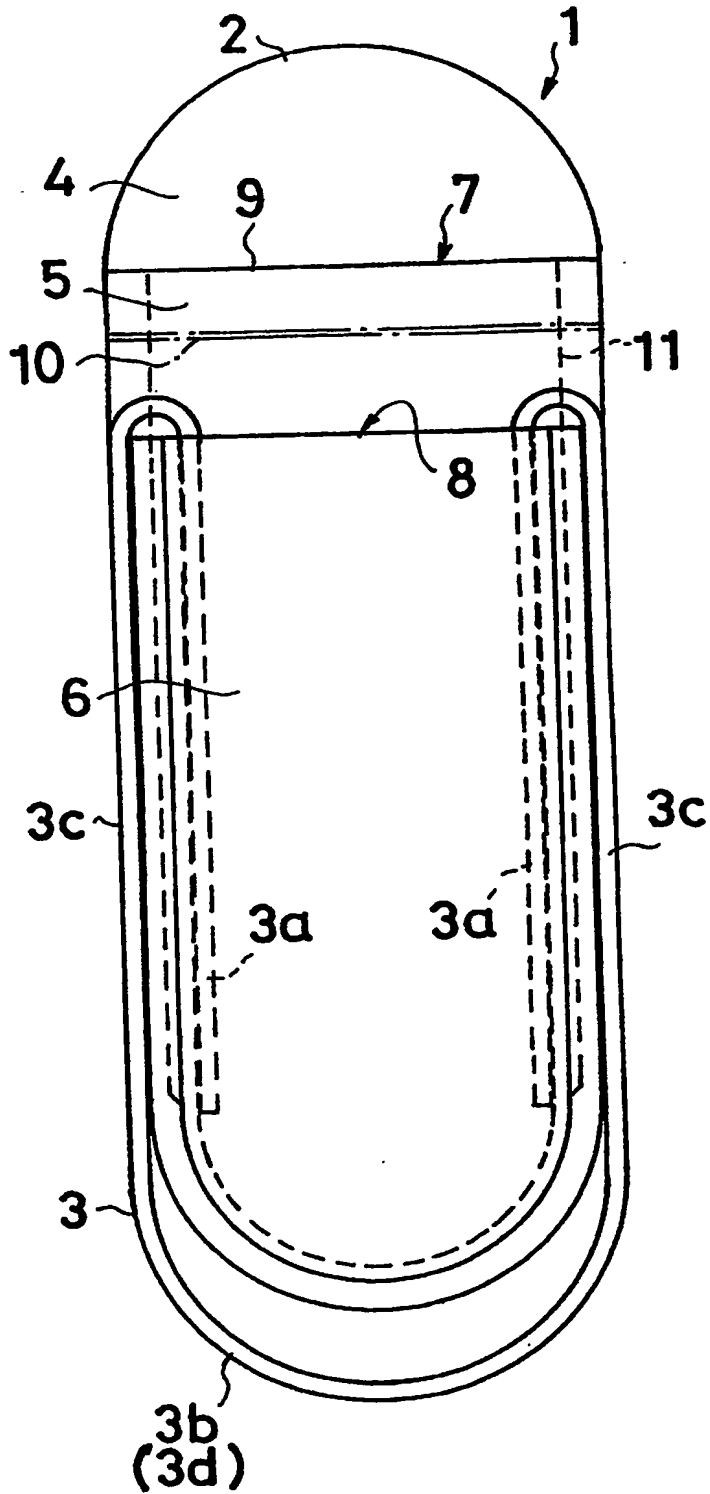
【図 2】



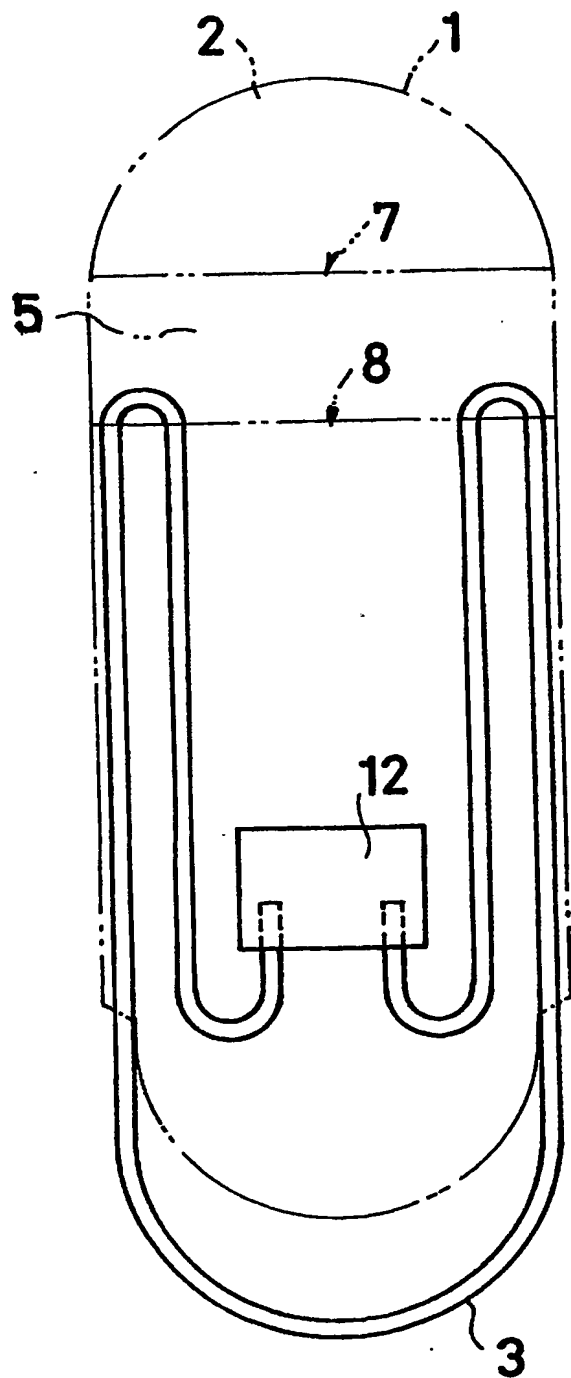
【図 3】



【図 4】



【図 5】



## 【書類名】 要約書

## 【要約】

【課題】 香気成分或いは薬効成分などを具備させた発散成分含有材などの所望用途物とクリップとを一体的に保持させて携帯物に簡便に装着できるようにする。

【解決手段】 合成樹脂製の表シート材 4 の裏側に、中シート材 5、裏シート材 6 を積層するとともに周縁部分をシールして、表側収納部 7 と裏側収納部 8 を形成し、表側収納部には上部にファスナー 10 付き開口部 9 を形成し、一部に通気部 11 を設けて、出し入れ可能に発散成分含有材を収納し、裏側収納部 8 には両側に区画形成したクリップ差込み収納部 8a にクリップ 3 の挟着一端部 3a を差込み、クリップの挟着他端部 3b を被装着部への係止部とした。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号

特願 2003-324180

受付番号

50301533976

書類名

特許願

担当官

鈴木 紳

9764

作成日

平成15年10月 1日

<認定情報・付加情報>

【提出日】

平成15年 9月17日

特願 2003-324180

出願人履歴情報

識別番号

[598167800]

1. 変更年月日

1998年11月19日

[変更理由]

新規登録

住所

東京都豊島区南大塚2-26-7

氏名

エヌエスプランニング株式会社